

令和7年度春季企画展

Expo

1851→2025

古今東西の
博覧会資料が
ここに集結！

2025年

4月12日〈土〉

— 6月8日〈日〉

※5月14日(水)一部展示入れ替えあり

主 催：京都府立京都学・歴彩館

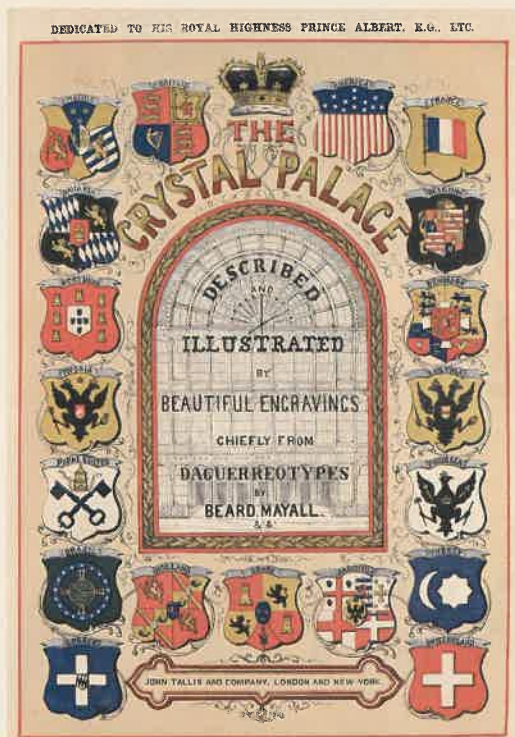
会 場：京都学・歴彩館1階展示室

時 間：平日 午前9時から午後6時
土日 午前9時から午後5時

休館日：4月29日、5月3日、
5月4日、5月5日、
5月6日、5月14日

入場無料





古今東西の博覧会資料がここに集結！

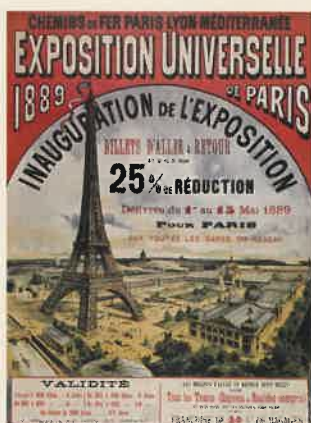
世界で最初の万国博覧会（万博）は、1851年にロンドンで開催されました。産業革命に始まる社会の大転換を世界に印象づけ、人々は最先端の文明と変貌する世界像に惹きつけられました。

1851年の第1回ロンドン万博から1900年の第4回パリ万博までの半世紀は、各国で大小の国内・国際博覧会が開かれた「博覧会の時代」といわれています。その始まりから現代に至るまで、機械製品や美術工芸品、科学技術など、時代の変化を象徴する各国の成果が万博の名のもとに集結し、次世代の新しい発展へとつながっていきました。

日本で初めて「博覧会」という名称が使われたのは、1871年の京都博覧会です。これは前時代における物産会や縁日の見世物的なものでしたが、1877年の東京上野に始まる内国勸業博覧会は、欧米の万博に刺激を受けて殖産興業の手段に位置づけられました。それから約100年後の1970年には、日本初の国際博覧会である大阪万博が開催。日本の高度経済成長期を象徴し、経済成長を加速させる原動力となりました。

本展示では、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を記念して、第一章「世界の万博」第二章「近代日本の博覧会」第三章「1970年大阪万博」とし、吉田文庫や西山文庫を中心とする博覧会関連資料を展示します。

1



2



3



4

世界の工場イギリスで
始まった万博は、
芸術の都パリと
新興国アメリカへ。
西洋からやってきた「博覧会」は
近代日本の幕開けに。

1 Tallis's history and description of the Crystal Palace, and the Exhibition of the World's Industry in 1851. vol. 1

2 Exposition Universelle 1889 de Paris

3 第四回内国京都府勸業博覧会図

4 『風俗画報』269号、1903年6月10日臨時発行

5 万国博へのパスポート モントリオール万国博
視察団募集ご案内



5

京都学ラウンジミニ講座 申込不要 先着順

4月17日（木）「世界の万博」
4月24日（木）「近代日本の博覧会」
5月1日（木）「1970年大阪万博」
時間 13:30～14:00（13:00開場）
会場 京都学・歴彩館 1階小ホール
定員 各回70名

資料紹介コーナー「博覧会ヒストリー」

国内・国際博覧会の本だけでなく、万博研究の基礎を築いた吉田光邦や万博学に関係する本を紹介します。
期間 3月13日（木）～6月10日（火）
場所 京都学・歴彩館 2階京都資料総合閲覧室

京都府立京都学・歴彩館 KYOTO INSTITUTE, LIBRARY AND ARCHIVES

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-29
TEL: 075-723-4831 FAX: 075-791-9466

【電車】京都駅から京都市営地下鉄烏丸線
「北山駅」下車徒歩約4分

【バス】出町柳駅から京都市バス4系統
「北山駅前」下車徒歩約4分
「府立大学前」下車徒歩約6分

車で越しの際は敷地内のコインパーキングをご利用ください。

